



▲美術文化活動の拠点となる県立美術館、3月オープン

芸術文化を振興し、文化財を保護活用することは、新しいふるさとづくりの基礎的な条件の一つであります。物と心のアンバランスが憂慮されている今日、失われた心を取りもどし、潤いのある県民生活を推進するために県民一人ひとりが芸術や文化に接して心の豊かさを持ち得るような機会を作っていくことが必要であります。特に①郷土文化の調査、②文化財の愛護、③芸術活動の育成につとめます。

★郷土文化の調査……七百七十七万円

県下における民俗資料、古墳群調査、中世城跡などの分布状況及びその実態調査を実施します。また前年度単独事業で実施した菊池川流域における古代文化の総合調査については、最近注目を集めているトンカラリン及びその周辺地域について、発掘調査、文献調査を国庫補助事業により実施し、学術上必要な資料を整備します。

★文化財の保存保護対策……

四千四十一万円

文化財の保護の万全を期すため、文化財一覧の刊行、文化財保護大会の開催、収蔵庫の管理運営を強化します。また保護活用の徹底を期すため県指定文化財に標柱を設置します。国指定重要文化財環境家住宅は、昭和四十九年度に解体を行います。

またが、五十一年、五十二年度にわたり国庫補助事業により復元することにしました。

★県立美術館の開館……一億三千三百九十万円

昭和四十九年度に着工した県立美術館は、二月二十四日に落成、三月四日開館いたしました。本県芸術文化活動の拠点として、また広く県民の知識教養向上の場として、県民の皆様の活用を期待しております。本年度は、各種の展覧会事業や、貴重な美術品の収集などを行い、内容の充実と運営に万全を期しております。

★文化活動育成……一千三百九十六万円

県内における芸術文化団体による地方巡回を実施し広く県民に芸術鑑賞の場を提供するため、熊本交響楽団、熊本演劇人協議会上演など、熊本県芸術劇場の開催、また青少年のため熊本県青少年劇場を開催します。

★熊本県ふるさと顕彰……二百万円

郷土の恵まれた自然環境のもとに古くから育まれてきた郷土色豊かな伝統工芸または民俗芸能の維持に努めておられるかたがたの意欲の高揚をはかることもに地域社会の発展に資することを目的として熊本県ふるさと顕彰を行います。



▲生産性の高い高能率農業をめざして（ほ場整備）

我が国経済が低成長に移行するにともなって、農業あるいは農村をめぐる新たな問題が提起されており、これらの課題を解決し、本県を食糧供給基地として確立するためには、まず、農村の総合的整備と担い手の育成を図ることが必要です。

★農業振興地域整備促進事業……

二千五百九十九万円

市町村が策定する農業振興地域整備計画を見直し、引続き適正に計画を管理するために必要な経費を補助します。

★第二次農業構造改善事業……

十五億八千八百六十六万円

自立経営など規模が大きく、生産性の高い中核的農業経営を育成することを目標として、本年度は三十一地区について、農業構造改善に必要の事業を総合的に実施します。

★防災官農施設整備事業……

四千五百五十五万円

阿蘇山の火山活動にともなう火山灰による農作物の被害防止のため、施設の整備、酸性土壌の矯正などの事業を実施します。

★農業関連公害対策事業……

千五百六十八万円

農業関連公害防止のため、農用地土壌汚染防止対策事業、農業用廃プラスチック処理対策事業、地域共同公害防止対策事業を実施します。

★新しい農業の担い手育成……

千六百十九万円

農業後継者の育成のため、新規就農者及び農業を志向する青少年に対し、農業生産技術や経営管理能力の向上を図るよう指導します。

★たくましい農業経営者づくり……

八百九十七万円

農業に積極的に取り組もうとする者を対象に、技術や経営の濃密指導を行い、地域農業の中核的な担い手として育成し

ます。

★農業生産組織育成事業……

千五百三十六万円

土地と人を含めた組織の育成を図り、個別経営から組織農業への発展を促進します。

★農村健康モデル地区育成事業等……

八百六十六万円

農家の健康管理を図るため、モデル地区を設置し、住みよい環境づくり事業等を推進します。

★農業機械銀行設置事業……

八百万円

機械や施設の購入による個別農家の過剰投資を解消するため、これらの共同購入預託ならびに共同利用を行う農業機械銀行組織を育成します。

★農用地利用増進対策事業……

二千六百二万円

経営の規模拡大と農用地の効率的な利用の促進を図るため、一定の農用地について、関係者の意向にもとづき利用権の設定や関係事業の促進をはかります。

★農地保有合理化促進事業……

九千七百七十三万円

★酪農ヘルパー育成促進事業……

二百四十七万円

酪農労働は時間の拘束性が大きいことから、これを改善し酪農経営の安定的発展を図るため酪農ヘルパーの育成を促進します。